

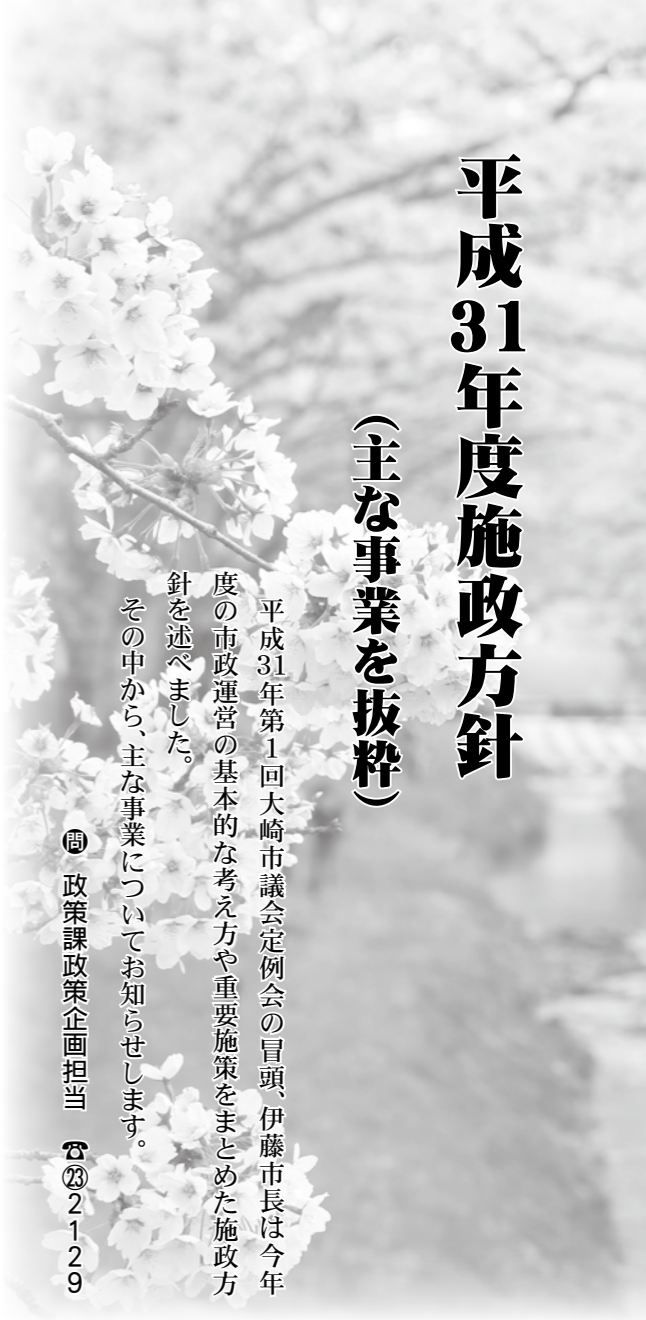
# 平成31年度施政方針

## （主な事業を抜粋）

平成31年第1回大崎市議会定例会の冒頭、伊藤市長は今年度の市政運営の基本的な考え方や重要施策をまとめた施政方針を述べました。

その中から、主な事業についてお知らせします。

◎ 政策課政策企画担当 ☎2129



### 市民が主役

#### 協働のまちづくり

##### ○宝の都(くに)・おおさき市 地方創生総合戦略

計画期間の最終年度を迎えるため、各施策の達成状況を検証し、持続可能な地域社会の実現に向け、次の総合戦略を策定します。

また、新たな国の制度である「わくわく地方生活実現政策パッケージ」に取り組み、既存事業の深化、高度化を進めます。

##### ○市役所本庁舎等の建設

市役所本庁舎の建設は、市民への説明会などを開催しながら、基本設計・実施設計業務

を進めます。

田尻総合支所庁舎建設は、本年中の建設工事を完成させ、来年2月の供用開始を目指します。鳴子総合支所庁舎等複合施設建設は、基本設計・実施設計業務を進めていきます。

##### ○市の花・木・鳥・市民歌の普及

ひまわり、桜、マガン、市民歌と世界農業遺産・大崎耕土をデザインしたクリアファイルやひまわりの種、市民歌CDなどを活用し、さらなる認知度の向上を図ります。

##### ○地域自治組織の支援と市民協働の推進

人口減少社会に適合した仕組みづくりを検証するため、新たに地域自治体制整備実証

事業を実施します。また、住民自治の支援や地域を担う人材の育成を行い、協働のまちづくりをより一層推進します。

##### ○地域交流センター

七日町西地区再開発事業で整備される複合施設に、まちなかのにぎわい創出、生涯学習と地域コミュニティの協働によるまちづくりの拠点となる「地域交流センター」を、平成33年度中の開館を目指して整備を進めます。

##### 安全・安心で

#### 交流が盛んなまちづくり

##### ○防災対策

過去の災害を教訓としなが

していきます。

### 地域の個性を生かし

#### 豊かな心をはぐくむまちづくり

コミュニケーション能力の育成とグローバル化に対応するため、小学校へ語学指導支援員などを配置します。年々増加傾向にある不登校の児童生徒が、早期に学校復帰できるよう、新たに「子どもの心のケアハウス事業」を実施するなど、支援体制を強化します。

##### ○学校等の施設整備

幼稚園および小中学校へのエアコン整備事業は、普通教室の全部と特別教室の一部へ早期の整備を進めます。

##### ○文化財保護

松尾芭蕉翁の奥の細道の旅立ちから330年を迎えるにあたり、岐阜県大垣市など関連する自治体とともに、「奥の細道紀行330年記念事業」を実施します。

##### ○図書館の運営

開館以来、多くの人に利用いただき、来館者はすでに50万人を達成しました。今後も、利用者に満足いただけるよう努めます。

の整備工事を進めます。

緒絶川周辺整備は、緒絶川と一体となった風情ある街並みの保全と利活用をしながら、魅力ある高質空間形成施設の整備を進めます。

七日町西地区再開発事業は、七日町西地区市街地再開発組合が、本年5月に権利変換計画の知事認可を目指していることから、今後も細やかな行政支援を行っていきます。

##### ○三本パークゴルフ場建設

本年秋の暫定オープン、および来年春の全面オープンに向け指定管理の準備を進めます。

##### ○公営住宅整備事業

鹿島台鈴掛住宅整備事業は、平成31年度内の移転・入居に向け工事を進め、入居者の住環境の改善に努めます。

松山駅前住宅集会所は、現在の集会所を解体し、新たな共同施設として建て替えま

##### ○雨水対策事業

古川・松山・鹿島台地域において、雨水対策事業を進めます。また、浸水被害の軽減と衛生的な環境整備を図るため、全地域で排水路整備事業を計画的に進めます。

ら、関係機関等との連携で実践的な訓練を実施し、災害対応力の向上と盤石な警戒体制の構築を図ります。

また、新たなハザードマップを全戸に配布し、自主防災組織の育成と連携に努めるなど、防災体制の一層の強靱化に取り組みます。

##### ○地域公共交通

地域内公共交通は、新たに古川清滝地区での実証運行に取り組みます。また、高齢運転者による交通事故の防止を目的として、運転免許自主返納者に対する支援事業を実施します。

##### ○都市交流

愛媛県宇和島市との姉妹都市盟約の締結から20周年を迎えることから、市民訪問団を組織して訪問するなど、さらなる相互理解と友好関係を築きます。

##### ○道路整備事業

円滑な道路環境の整備のため、道路網や橋梁などの計画的な整備を促進していきます。

##### ○河川事業

平成27年の関東・東北豪雨災害を教訓とし、早期に治水安全度などの向上が図られるよう関係機関に対し強く要望

第四小学校の校地内に整備している放課後児童クラブ室は、4月の開設に向けて準備を進めます。

保育所については、10月から実施される幼児教育・保育の無償化により、例年以上に入所希望者が多いため、受け入れ環境の整備に努めます。

##### ○母子保健

来年4月の子育て世代包括支援センター設置に向け、関係機関と連携しながら、産後ケアや発達が気になる子どもへの相談支援に取り組みます。

##### ○病院事業

新大崎市民病院改革プランの行動計画となる病院事業病院ビジョンに基づき、各種事業に取り組みしていきます。

岩出山分院のリハビリテーション施設を平成31年度の早い時期に稼働させ、鳴子温泉分院の新病院建設事業は、実設計終了後、建設工事に着手します。

##### ○自然と共生し

#### 環境に配慮したまちづくり

##### ○中心市街地復興まちづくり

市役所周辺整備は、土地の先行取得や、仮換地による建物の移転補償と、区域内道路

活力あふれる

#### 産業のまちづくり

##### ○世界農業遺産

世界農業遺産の保全と活用策を実践へと移行する「アクションプラン実践元年」として、地域資源の見える化によるツーリズム推進、農産物のブランド認証制度の運用開始など、多様な分野と連携し、地域資源を「守るために生かす」取り組みを着実に進めます。

##### ○道の駅おおさき

7月の供用開始に向け工事を進め、世界農業遺産ブランドやフィールドミュージアムの情報発信、まちなか誘導による中心市街地活性化の拠点となるべく、効果的な管理運営を目指します。

##### ○農業の振興

次世代の担い手の確保・育成として、関係機関と連携した受け入れ体制の構築や、本市独自の就農チャレンジ支援事業などを活用して、就農者を確保します。

デビュー5年目となる「ささ結」については、みやぎ・大崎耕土「ささ王」決定戦を開催するなど、国内外に向けてさらなるブランド力の向上や消

費拡大を推進します。

##### ○林業振興

4月から森林経営管理法が施行され、森林環境譲与税が市町村へ配分されるため、この財源を有効に活用し、森林の経営管理に関する意向調査や森林整備を推進します。

##### ○中小企業・小規模企業振興

大崎市中小企業及び小規模企業振興基本条例に基づき振興策を推進し、企業の支援体制の構築に取り組み、活用しやすい支援制度を目指し、補助メニューを再編していきます。

##### ○商業振興

商業の活性化策として、商店街のにぎわい創出や個店の魅力アップに向けた取り組みを支援するとともに、販路拡大につながるよう外部専門家などを活用します。

10月に引上げが予定されて

いる消費税対策として、商工会議所、商工会など関係団体と連携し、宝の都(くに)・大崎2019プレミアム商品券発行事業の実施を支援します。

##### ○観光プロモーション

多様な地域資源を活用したツーリズムによる交流人口の拡大に努め、JR東日本のトランスイート四季島のお出

迎えを通じたおもてなし力の向上と、ラジオ、ソーシャル・ネットワークキング・サービス(SNS)インターネット上の交流の場などによる情報発信を行います。

また、仙台空港への直行便が毎日発着する台湾へのプロモーションを強化し、宮城オムレコース認定に向けた取り組みなどと併せて、欧米圏へのプロモーションも実施し、新たな圏域からの外国人観光客(インバウンド)の確保を目指します。

##### 地域で支え合い

#### 健康で元気なまちづくり

##### ○心身障害者医療費助成事業の拡大

心身障害者医療費助成事業については、これまで、身体や知的障がいを持ち、一定の基準に該当する人が対象でしたが、本年10月診療分から、精神障がいの人も対象に加えるよう、準備を進めます。

##### ○子育て支援

旧市民病院跡地に整備している子育て支援拠点施設は、年内のオープンを見据え、運営面の準備を進めます。また、古川第三小学校、古川